

平成31年4月7日
執 行

大分県議会議員選挙公報

大分市選挙区

大分県選挙管理委員会
(掲載順序はくじによる)

さまざまな現場での対話と実践、そして現場実態を踏まえた提言で

大分県をもと安心・安全に

消防団員や防災士、NPOの活動を通じて地域の実情をつぶさに見聞きしてきました。人口減少問題が深刻化する中、その対策として子育て支援やUターンなどの対策が注目されがちですが、一方では、人口が減っても地域での生活や経済活動が維持できるよう、災害への備えも含めて準備しておくことが重要です。

大分県をもと元気にもと面白く

何よりも大切だと思うのは、街や地域の元気であり、いろんなことに挑戦する人の存在です。県内外の地域おこしの現場を見てきましたが、成功しているところには必ず寝食を忘れて取り組む人たちがいる。自分自身も汗をかきながら、そんな人たちのやる気を活かせる環境づくりに引き続き全力で取り組みたい。

安心で希望を語れる大分づくり

藤田正道

現場主義

まず現場に向かいます

対話主義

政党や会派を越えて活動します

実践主義

自ら汗を流し解決します



藤田正道

無所属

県政の活力源

ひろあき
えとう 博昭 39歳



(自民党公認)

えとう 博昭

えとう博昭プロフィール

- 大分市立住吉小学校
- 大分市立碩田中学校
- 県立大分上野丘高校
- 慶應義塾大学商学部卒業
- 三菱重工業(株)入社
(2014年5月退職)
- 大分県議会議員 初当選
(2015年4月)
- 福祉保健生活環境委員会
委員長 選任
(2018年4月～2019年3月)
居住地 大分市鶴崎

●大分の歴史、文化、伝統、お祭りを大切に

歴史、文化、伝統を大切にし、家庭・地域が一つになって子育てをする社会を実現します。

●お年寄りにやさしい地域社会を

高速交通網の早期完成を目指し、環状線、新東西線を整備促進。
市街のバリアフリー化の加速で、福祉最先端都市・大分を目指します。

●ふるさと大分の創生は若者の雇用創出から

地域を活性化させるために地元企業をサポートします。
「大分ブランド」を売り込み、企業誘致や観光客増大で、雇用の創出を図ります。

●地域の底力で美しい安全な街づくりを

災害にそなえ、人と人との絆、地域における底力で、防災・減災はもとより、
防犯・防止で、すべての人たちに安心・安全な街づくりを目指します。

私も応援します。

立憲民主党代表
枝野 幸男
立憲民主党大分県連代表
横光 克彦

大分で夢を語ろう！

<http://www.urano-oita.net>

プロフィール

昭和44年大分市出身 中津市豊田小、
豊陽中、中津南高校、東京都立大学法学
部政治学科卒。会社員経験を経て行政書士・
社会保険労務士として独立。平成19年
組織・地盤ゼロの中、完全草の根選
挙で三鷹市議会議員(東京都)に当選。
平成23年 大分にUターン。わかりやすく
「年金・社会保障」を伝えるセミナー・
相談会を県内各地で開催。
立憲民主党大分県連常任幹事

行政書士・社会保険労務士

基本政策

自分らしく働きたい

- 多様な働き方を地域の中でバックアップ
- 高等学校での労働法、社会保障教育の充実

自分らしく生きてゆきたい

- 障がい者、少数者への理解を増やす
- 介護・相続、ひとりで悩まない地域づくり

自分らしく子育てしたい

- 出産・育児に関する権利・制度の広報を充実
- 多様な子育てスタイルを応援、保育格差の是正

ひとりにさせない政治。

「あとちょっと早く相談してくれたら
よかったのに…」

行政書士・社会保険労務士として市民・中小企業の相談に対応する中、何度もこの想いを抱いた
私は、権利や制度を知らないで悩んでいる、困っている多くの市民の方を見てきました。

今の自分にどんな権利があり、どんな制度を利用できるのか?地域の中で知ることができ、相談することができればより多くの人が自分らしい生き方を選択できるはず。

ひとりにさせない政治 私・浦野英樹は、夢を語ることができる大分をつくる為、
県政に挑戦します。



立憲民主党公認

うらのひでき

まっとうな政治。
支えあう社会。
原発ゼロ。

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan